## 308筐

ニボルマブ Nivolumab ●オプジーボ(小野) 点滴静注: 20mg,100mg 警告|間質性肺疾患で死亡例→52頁 「特la.PD-1抗体: PD-L1.PD-L2との 結合を阻害→腫瘍の増殖を抑制. b.ダカルバジンで根治切除不能な III期/IV期又は再発の悪性黒色腫へ の奏効率: 22%,全生存期間: 473日. [効]根治切除不能な悪性黒色腫 a.抗癌薬未投与には未承認 b.術後補助化学療法へは未承認 「用]1回2mg/kgを1時間以上かけ点静. (禁:静注,皮下注,筋注). 3週間間隔で投与 a.フィルター(0.2,0.22 $\mu$ m)を使用. b.抗癌薬との併用は未承認.

[体内動態]半減期は約2週間. 投与18週目で定常状態 [慎]1.自己免疫疾患・既往歴→増悪. 2.間質性肺疾患・同既往歴→増悪.

3.TSH,遊離T3,遊離T4等を,開始前〜投与中は定期的に検査 甲状腺機能障害へは→適切に処置. [禁]1.妊婦. 2.避妊させる3.授乳を中止. (併]B.慎:ワクチン類→過度の免疫反応. [副85%]A.重大: a.間質性肺疾患, b.肝機能障害,肝炎.c.甲状腺機能障害,

の所機能障害が次に中へが機能障害, d.点滴時反応→44頁 D.●リンパ球減14%,●白血球減17%, ●好中球減5%,貧血徐脈心室性期外 収縮、下垂体炎、ブドウ膜炎、視力低下,

●下痢11%,便秘,口内乾燥。●悪心5%, ●口内炎5%,腹痛,嘔吐,大腸炎。●疲劳 14%。●倦怠感5%,末梢性浮腫疼痛。● 発熱8%,口渴,蜂巢炎,肺炎,癰、歯周炎, 高K血症,低K血症高尿酸血症,食欲減, 糖尿病,脱水低リン酸血症,低Ca血症, 高血糖。●筋痙縮5%,四肢痛,関節痛,関 節硬直,関節炎。●味覚異常5%。●

同皿相●別2種目が2月放用原則用原質 節硬直、関節炎。●味覚異常5%。● ニューロパチー5%。浮動性めまい,腎 不全,尿細管間質性腎炎、蛋白尿, しゃっくり、喉頭痛、口腔咽頭痛、咳呼吸困難後鼻漏。●白斑17%。●ろう痒 31%。●皮膚色素減11%,脱毛。湿疹,皮脂 欠乏性湿疹。●発疹5%。●丘疹5%。●脂 漏性皮膚炎5%、蕁麻、疹、中毒性皮疹、乾 癬紅斑、皮膚乾燥、尋常性白斑、紅斑性 皮疹、そう痒性皮疹。●CK↑14%。●血 中LDH↑14%。●CPR↑14%。●好酸球 ↑11%。●アルブミン↓5%、CL↓,血

中コルチコトロピン↓,●血中クレア チニン↑5%,●血糖↑5%,血中Na↓,補 体成分C3↑.●尿糖陽性5%,ヘマトク リット↓,尿血陽性,●ヘモグロビン ↓8%,単球増好中球↑,●酸素飽和度 低下5%●血小板↓5%,●赤血球5%, 白血球↑,血中リン↑,補体成分C4↑, ●リウマチ因子↑8%,●抗甲状腺抗 体陽性8%,補体因子↑,●細胞マーカー5%↑,●抗核抗体増加5%,●血中 CK(CPK)↓5%,血中尿素↑,総蛋白↓, 体重↓,単球数↓,好酸球数↓,,ウマ チ因子陽性,インターロイキン濃度↑. [調整]・バイアルの振盪は禁.

- ・生食に希釈し、総液量は60mLを目安.
- ・静かに混和し、急激に振盪しない.
- ・希釈後は速やかに使用.残液は廃棄
- ,・他剤との混注は禁止.